

孤立性結節影を呈し、外科的肺生検で診断した非結核性肺抗酸菌症における臨床像や術後経過に関する後方視的検討

当院では、「孤立性結節影を呈し、外科的肺生検で診断した非結核性肺抗酸菌症における臨床像や術後経過に関する後方視的検討」を実施しております。この研究は、孤立性肺結節の診断のため外科的肺生検を施行され、非結核性肺抗酸菌症と診断された患者さんを対象に、臨床的特徴や術後経過について検討するものです。研究目的や内容などについては以下のとおりです。直接のご同意は頂かずに、この掲示によるお知らせをもって、ご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解頂き、研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。万が一、この研究へのご参加をご希望されない場合、途中からご参加の取りやめを希望される場合、また研究に関するご質問などは、下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

【研究の概要】

研究題名：孤立性結節影を呈し、外科的肺生検で診断した非結核性肺抗酸菌症における臨床像や術後経過に関する後方視的検討

研究責任者：天理よろづ相談所病院呼吸器内科 加持雄介 田口善夫

【研究の目的・意義について】

非結核性肺抗酸菌症は結核菌以外の抗酸菌による感染症で、肺に感染を起こします。非結核性肺抗酸菌は土や水などの環境中に存在する菌で、結核菌とは異なり人から人には感染しません。普通の免疫状態であれば、結核のように急速に進行することは稀です。初期では無症状だが、胸部エックス線や胸部CTで肺に異常影を認め発見されることがあります。非結核性肺抗酸菌症は多発粒状影や気管支拡張像を呈することが多いですが、稀に孤立性結節陰影を呈することがあります。その場合は肺癌との鑑別が問題となり、確定診断のために外科的肺生検が施行されますが、その臨床像や術後の抗菌薬治療の必要性については十分に検討されていません。この研究では患者さんの検査所見、治療内容を含めた経過などのデータを集積し解析することによって、得られた知見を日常臨床に役立てたいと考えています。

【研究の方法について】

2003年1月から2015年12月の間に孤立性肺結節影を呈し、外科的肺生検で非結核性肺抗酸菌症と診断された患者さんのデータを後向きに解析いたします。倫理委員会承認後より開始し、症例の登録、データ集積、最終的な解析を2017年12月までに終える予定としています。

【予測される利益・不利益について】

また、この研究への参加に同意されない場合、あるいは同意を撤回される場合においても、診療内容に変更はなく、患者さんの不利益が生じることは一切ありません。

【研究内容の開示について】

この臨床研究の研究計画につきまして差し支えのない範囲で、さらに詳しい内容をお見せすることは可能です。

【個人情報の保護について】

今回得られた情報は、匿名化およびコード化され、個人を特定することはできません。また、学会や医学雑誌に発表する際も、プライバシーに関わるものが公表されることは一切ありません。

【研究結果の発表について】

この研究結果は、学会発表および学術論文として公表される予定です。

【費用について】

この研究に関して、患者さんへ追加でご負担いただく費用はありませんし、また謝礼もございません。

【研究から生じる知的財産権について】

この研究に知的財産権が生じた場合、その権利は著作権者に属するものとし患者さんには属しません。

【問い合わせ等の連絡先】

公益財団法人 天理よろづ相談所病院呼吸器内科 担当責任医師：加持雄介 田口善夫
連絡先：〒632-8552 奈良県天理市三島町200
電話番号：0743-63-5611（月～金 8:30～17:00）